

## 医学生修学資金貸付制度の創設について

菅野 恭子

〔質問〕公立刈田総合病院は長年にわたり仙南地域、特に本市における「生命安全の拠り所」としてその役割を担ってきたが、昨年より医師が激減、補充が困難な状況。近年他自治体で増えつつある標記制度を公立刈田総合病院への勤務を条件に（一定期間の勤務により貸付金の返済免除要件具備）本市においても創設し、確実性の高い医師確保事業としてぜひ、平成21年度から実施すべきと考えるが見解を伺う。

○その他の質問  
 ② 妊婦健診14回無料への拡大について  
 ③ 中学校におけるディベートの積極的導入実施について

〔答弁〕〔市長〕医学生修学資金の貸付制度は宮城県でも行っており、各市町村もやっていることは承知している。

本制度を刈田病院の将来にわたる医師招聘策として有効であるとは考えている。ただ、実施する場合、財政負担の問題もあることから、これは組合病院としての刈田病院を運営する蔵王町、七ヶ宿町とも協議をしながら、1市2町組合として導入の可能性について検討をしたいと考えている。



公立刈田総合病院

なお、医師不足の現状は県内自治体病院においても深刻な状況なので、宮城県市長会を通して、医師、看護師等の人員確保を含めた地域医療及び自治体病院の経営安定化策の充実について、国、また県に対して強く要望しているところである。

## 中小企業振興策について

沼倉 昭仁

〔質問〕白石市内にある中小企業の技術を継承する「内発型の支援」によって、白石の「地域力」を高めることが、「企業誘致」の基礎となる。そのため、行政は資金的な助成政策だけでなく、本質的な部分として経営を強くする「コンサルティング」の環境整備に取り組む必要がある。

○その他の質問 中小企業地域資源活用プログラム

そこで、白石市の中小企業が抱える課題とその対応策、また、「コンサルティング」の環境整備についてお伺いする。

〔答弁〕〔市長〕先日、みやぎ産業振興機構の副理事長と意見交換をする中で、現在は仙南地域においては宮城県大河原合同庁舎を会場として同機構の相談を実施しているが、白石を会場とした中小企業向けの各種相談会を開催するよう同機構に要請をしている。引き続き中小企業のサポート環境を整備して、この施策を進めていきたい。

また、新年度から企業立地推進室の設置を予定しており、現在は商工観光課がいろいろな意見を聞き、企業訪問などを行っている。特に商工会議所関係との連携を深め、同工業部会・商業部会の方々との接点を持ちながらさまざまな意見を聞き、中小企業を含めた企業のサポートをしていくように今後にも努力をしまいたい。

